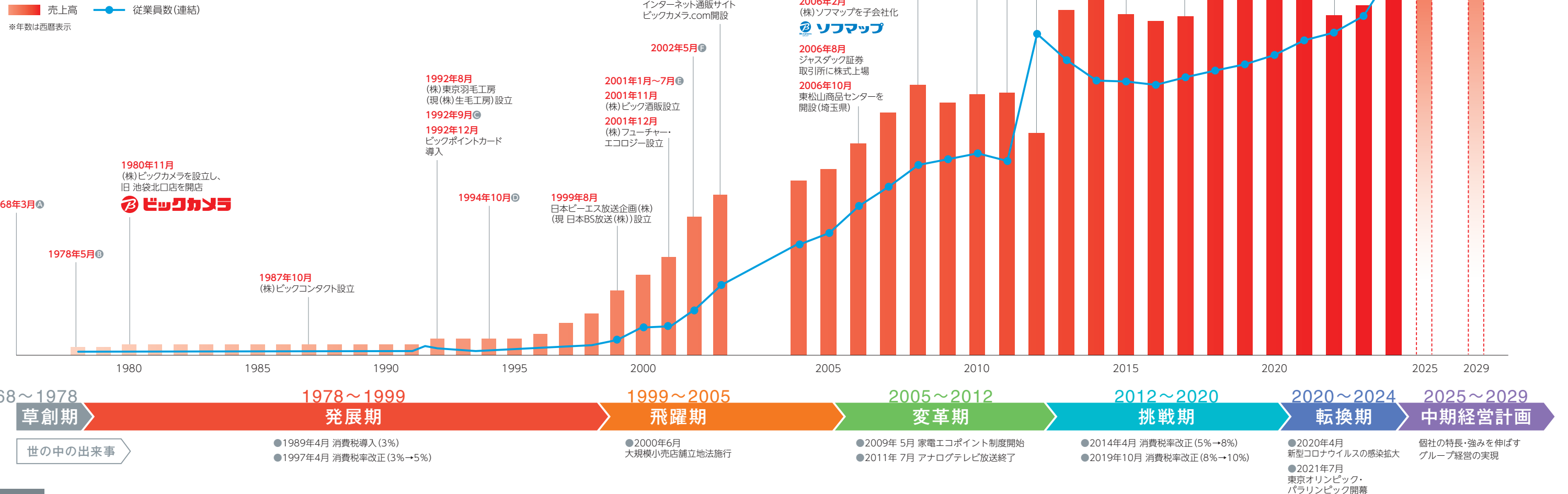


価値創造の軌跡

ビックカメラは、「お客様喜ばせ業」をつなぎ、期待を超える」というパーパスのもと、より豊かな生活を提案する、進化し続ける“こだわり”の専門店の集合体を追求します。創業以来、時代の変化やお客様のニーズに応え続ける中で培ってきた強みをさらに深化させることで、常にお客様の期待を超える価値を提供し、信頼される存在であり続けます。これにより、全てのステークホルダーの皆様へ新たな価値を創出していきます。



主要トピックス

TOPICS

お客様第一主義の実践・変化対応

時代の変化やお客様の要望に応じて取扱商品を拡充

- 1968年3月 群馬県高崎市で写真フィルムの現像所「高崎DPセンター」を設立。お客様の「早く写真を見たい」という要望に応えるべく、スピード仕上げサービスを提供。
- 1978年5月 池袋北口でカメラ及び関連商品の販売会社として創業。写真の現像だけでなく、カメラ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、テレビなどお客様の要望に合わせて関連する取扱商品を拡充し、時代の変化に対応。



当時の池袋北口店

豊富な品揃え“専門性と先進性”

「こだわり」の専門店の集合体として、さらなる

- 1992年9月 池袋本店の開店に際し非家電商品のスポーツ用品(ゴルフ・テニス)、おもちゃ、寝具などの取り扱いを開始。専門性追求の一例として、寝具を扱う生毛工房では、より豊かな眠りの環境を創造したいという想いから、原毛をポーランドから直接輸入。うもふとんはグースダウンを95%使用するこだわりの商品を提供。



寝具売場

品揃え拡充に挑戦

- 1994年 パソコン需要の高まりに早くから着目し「ビックパソコン館」を設立。ビックカメラ内のパソコン販売部門を強化、販売員のスキルアップ教育などを行う。



携帯電話の流行を予見するパソコン館本店の外観

ビックカメラのビジネスモデルを体現

「都市型」×「ターミナル駅前」×「大型」の店舗を展開

- 2001年 立川店、なんば店、有楽町店、札幌店と店舗面積10,000㎡級の大型店を1年に4店舗開店。
- 2002年 新宿西口店開店。2001年開店の大型4店舗と合わせて「都市型」×「ターミナル駅前」×「大型」の現在のビジネスモデルの礎を築く。



有楽町店



新宿西口店

グループ初となる中期経営計画を策定

- 2024年 2025年8月期から2029年8月期までの5年間を計画期間とするグループ初の中期経営計画を策定。「生活適合業態」を目指す姿とした、サーキュラーエコノミー型事業モデルの基盤構築を推進。お客様の生活・消費行動の変化に対応した事業展開により、持続可能な成長と社会的価値の創造を目指す。